

慶應大の林出といいます

設置センサで患者の見守りアシスト。通知の方法についてアンケートに答えていただきたく

【録音確認】

被験者名：中山

職種：

年数：15

音声か動画が流れるので、それを聞いたら次に何するかを教えて

例1

- 次の行動
 - 条件1：どうしました？と聞きにいく
 - 条件2：走って止めに行く
 - 条件3：走って止めに行く（2に比べて、画像なしよりは早く急ぐと思う）
- 並び替え：3-2-1

例2

- 次の行動
 - 条件1：本人のところに歩いていく
 - 条件2：走って行く
 - 条件3：もっと走っていく（近くのひとに声をかける スタッフの位置も確認できる）
- 並び替え：3-2-1

例3

- 次の行動
 - 条件1：歩きつつどうされました？どこ行きたいですか？
 - 条件2：小走りで叫びつつ。追記は必要だと思う。患者のリスクの情報はほしい。
 - 条件3：走りつつ、近くのスタッフに声をかける
- 並び替え：3-2-1

例4

- 次の行動
 - 条件1 歩いてどうされました？
 - 条件2：小走り（重症の場合、）
 - 条件3：重症度が高いほど、走っていく
- 並び替え：3-2-1

動画：5分くらいの動画。要る・いらないを教えて

- 通知1：スタッフが見ていないAさんが、姿勢を崩しています（17s）
 - 必要
 - 理由：この人を知っていると必要性は下がる
- 通知2：スタッフが見ていないFさんが、立ち上がっています（155s）
 - 必要
 - 理由：遅い。立った瞬間が転びやすいので、立ちそうくらいで教えてほしい
- 通知3：スタッフが見ていないAさんが、姿勢を崩しています（260s）

- 必要
- 理由：そろそろ姿勢を整えるくらいは必要
- 通知4：スタッフが見ていないDさんが、姿勢を崩しています (16s)
 - 不要
 - 理由：危険でないので。患者さんのごいの自立度を知っているから。
- 通知5：スタッフが見ていないIさんが、姿勢を崩しています (162s)
 - 必要
 - 理由：分からないとき、微妙なときはリスクあり
- 通知6：スタッフが見ていないDさんが、姿勢を崩しています (10s)
 - 不要
 - 理由：何かを見ているくらいなので特に危険ではなさそう
- 本人の情報（カルテ的）を総合的に判断して対応の必要性を最終判断する。その手前として（疑わしきは通知）